

私のしごと館の活用方法についての提案

森永卓郎

1. 提案内容

私のしごと館に、政府が計画している国立メディア芸術総合センターを誘致する

2. 提案の理由

(1)立地

現地は、市の条例で住宅や飲食店、ホテル、運動施設、映画館などを建築できないが、国立メディア芸術総合センターは文化施設であるため、立地に制約がない。

また、交通が不便であることも、いわゆるマニア層が国立メディア芸術総合センター利用者の中心であるため、大きな障害にはならない。

(2)規模

現在計画されている国立メディア芸術総合センターは1万平米だが、私のしごと館は3万5千平米あるため、十分収容が可能である。

(3)財政資金の節約

国立メディア芸術総合センターは、その設置に117億円の予算を確保しているが、私のしごと館跡地に収容すれば、コストの大部分が不要になる。また、私のしごと館をそのまま活用せずに放置したときに必要となる年間約1億2300万円も解消できる。

(4)既存事業との相乗効果

国立メディア芸術総合センターは独立採算制とされる見込みだが、既存の私のしごと館での体験学習を空きスペースを利用して継続すれば、相乗効果で来場者数が増え、ランニングコストを事業収入で賄うことが可能になると思われる。

(以上)